

2018 Project

【さくらフォレスト PJ・さくらフォレスト株式会社】

ベトナムでの通信販売の拡大

月間売上高 500 万円の達成

【SANWAPJ・三和ホールディングス株式会社】

インバウンドで地方創生 海外と糸島をつなぐ

伊都安蔵里の売上 10%UP

【タンスのゲン PJ・タンスのゲン株式会社】

中国の通信販売事業拡大・黒字化

タオバオ店月間売上高 500 万円

【博連社 PJ・株式会社 博連社】

物流を通じて ASEAN の経済発展に貢献する

ビジネス案の提案と確定

【福岡友情ネットワーク PJ・NPO 法人 ASIA】

グローバル化に向けて留学生と企業の架け橋になる

Create internship

【三國バイオ PJ・三國有限公司】

学生の発想力と行動力で GSP 研究をビジネス化する

共同研究 1 校以上獲得 その他のビジネス化の提案

【南福岡自動車学校 PJ・南福岡自動車学校】

日本で活躍できるカンボジア人材を創る

カンボジア人材の採用枠を 10 名獲得する

【メモリード PJ・株式会社メモリード】

海外日本食の Breakthrough～日本風を純日本食へ～

海外事業部候補生を 8 名集める

2017 Project

参加テーマ企業: 横濱インズジャパン・横南福岡自動車学校・㈱三松・㈱アイ・ケイ・ケイ・㈱エッチ・ピー・エス / 参加大学: 福岡大学 66 名; 九州大学 3 名; 中村学園大学 9 名; 西南学院大学 1 名; 筑紫女学園大学 38 名; 福岡女子大学 2 名; 福岡工業大学 9 名; 九州工業大学 7 名; 九州産業大学 1 名

2016 Project

参加テーマ企業: ㈱ありかとうサービス・一般社団法人飯塚友情ネットワーク・㈱久原本家グループ本社・さくらフォレスト㈱・㈱TSEC ストラテジー・㈱博連社・社会福祉法人豊栄グループ・㈱メモリード / 参加学生数: 93 名 (福岡大学 66 名; 筑紫女学園大学 19 名; 九州大学 3 名; 西南学院大学 13 名; 九州工業大学 1 名; 福岡女子大学 1 名)

2015 Project

参加テーマ企業: 一般社団法人飯塚友情ネットワーク・㈱ありがとうサービス・㈱ GUIDER・㈱久原本家・㈱博連社・㈱メモリード・社会福祉法人豊栄グループ・HopewillGroup(Holding)ltd. / 参加学生合計: 138 名 (日本人学生: 121 名; 留学生: 17 名) 福岡大学 69 名; 福岡女子大学 20 名; 西南学院大学 12 名; 筑紫女学園大学 6 名; 中村学園大学 5 名; 九州大学 4 名; 福岡工業大学 3 名; 九州産業大学 1 名; 福岡教育大学 1 名; 留学生: 17 名

2014 Project

参加テーマ企業: (一社) 飯塚友情ネットワーク・㈱ A-future・大口酒造㈱・㈱資源・㈱久原本家・㈱ゴーゴーラボ・シンガツメティカル㈱・㈱サニックス・(福) 豊栄グループ・㈱丸セム・㈱メモリード (計 11 社) / 学生参加: 101 名 (日本人: 86 名; 留学生: 15 名) 福岡大学 61 名; 九州大学 5 名; 中村学園大学 15 名; 西南学院大学 6 名; 福岡女子大学 1 名; 久留米大学 2 名; 近畿大学 2 名; 福岡歯科大学 1 名; 福岡外語学院 1 名; 九州情報大学 3 名; 九州産業大学 2 名

2013 Project

参加テーマ企業: (一社) 飯塚友情ネットワーク・㈱ A-future・大口酒造㈱・㈱久原本家・㈱ゴーゴーラボ・㈱サニックス・㈱ニチボー環境エンジニアリング・(福) 豊栄グループ・㈱メモリード (計 9 社) 学生参加: 125 名 (日本人: 87 名; 留学生: 38 名)

2012 Project

参加テーマ企業: ㈱メモリード・㈱久原本家・大口酒造㈱・㈱インズジャパン・㈱サニックス・豊栄グループ・飯塚友情ネットワーク・㈱ニチボー / 参加大学: 福岡大学 62 名; 九州大学 6 名; 中村学園大学 2 名; 西南学院大学 11 名; 筑紫女学園大学 7 名; 福岡女子大学 4 名; 久留米大学 4 名; 九州外語学院 3 名; 九州工業大学 2 名; 九州産業大学 1 名 参加学生合計: 108 名 (日本人: 72 名; 留学生: 36 名)

2011 Project

アジアビジネスプランコンペティション (Breakthrough の前名称)

参加テーマ企業: ㈱メモリード・㈱久原本家・大口酒造㈱・㈱リガーハット・㈱メロディアン・㈱済美堂・Japanonline ㈱・㈱ニチボー / 参加大学: 福岡大学 38 名; 九州大学 28 名; 中村学園大学 14 名; 西南学院大学 5 名; 筑紫女学園大学 4 名; 福岡女子大学 2 名; 久留米大学 2 名 参加学生合計: 92 名 (日本人: 70 名; 留学生: 22 名)

Breakthrough

大学生と留学生が協働し、企業の問題発見とその解決に取組む
9ヶ月間の実践型インターンシップ プロジェクト

NPO 法人 ASIA
Asian Students Innovative Association

2018 後期
2019 年 2 月発行

人生の経営者になる



会社などの組織における経営者のように、ビジョンやミッションを自分自身の人生に見つけそのビジョンやミッションに対して強い情熱を持って社会で活動し、幸せに生きることのできる学生を増やしたい。また社会に対しても、そうした人材こそが社会における問題や課題を解決していくソリューションになると考えています。

Breakthrough は、2011 年より学生たちが主体的に協働し企業の問題発見とその解決に取り組み「何を どう知るか」に加え「知り得たことを使ってどのように社会・世界と関わるか」を考え、その過程で、知識・技能を身につける同時に、思考力・判断力・表現力等を学び、人間性等を総合的に育む場としてスタートしました。

めぐるしく変化するこれからの社会環境に、学生時代から自分の人生において経営者感覚を磨くことは、ますます必要とされるものだと思います。

福岡大学 経済学部 教授
阿比留 正弘





Breakthrough は、大学生と留学生が協働し、
企業の問題発見とその解決に取組む

9ヶ月間の実践型インターンシップ プロジェクトです。

**Breakthrough
理 念**

人生の経営者になる
学生が自身の人生におけるビジョンやミッションを見つけ、Breakthrough(ブレイクスルー)の問題発見、問題解決などの経験を自身の人生で活かし、情熱をもって社会で行動し、幸せに生きることのできる学生を増やしたいと考えています。

**Breakthrough
活動 目的**

学生が主体的に自身の人間性を育む場
学生がプロジェクトを通して、約束を守る、時間を守る、挨拶をする、大きな声で会話ができるなど基本的な行動を身につけ、主体的に知識・技能・思考力・行動力・判断力・表現力を習得し、社会や世界と関わり、より良い人生を送るためにコミュニケーション能力を育むことを目的としています。

国内外における幅広い人間関係の構築

企業のテーマに基づく問題解決の実践的な取組を通して大学生・留学生・企業が、お互いの多様性を認め合い活かしあえる環境を作り、国内外において幅広い人間関係を構築し成長することを目的としています。

企業の抱えるテーマに

福岡の大学生・留学生がその解決に挑みます。

福岡大学を中心福岡市内 11 大学・学部・学年を横断して編成された大学生と留学生（日本語学校を含む）がプロジェクトメンバーとして参加します。企業は、学生・留学生をインターンとして受け入れ、企業における問題抽出とその解決に取組みます。



様々な方面から Breakthrough プロジェクトをサポート

国内外の大学をはじめ専門学校・研究機関・企業・各種専門分野の有識者やBreakthrough(ブレイクスルー)OB・OGなど、多くの学部の協力を得て、学生たちのプロジェクトがサポートされています。

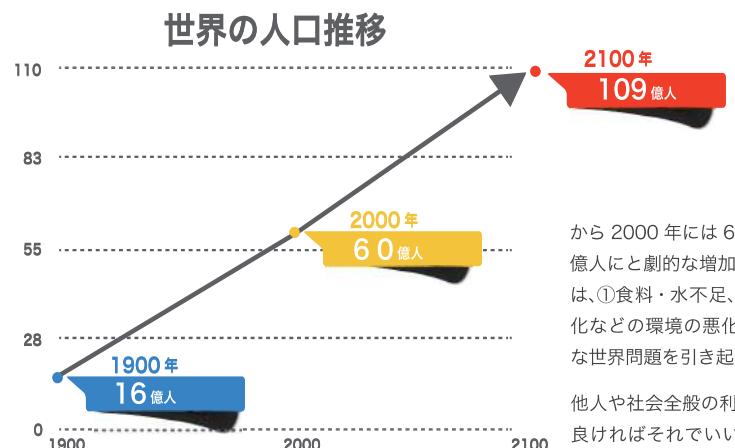
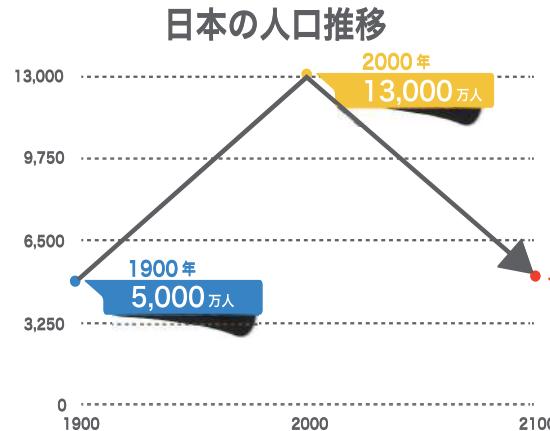
ブレイクスルー運営のために発足した NPO 法人 ASIA

2009 年 Breakthrough(ブレイクスルー) の活動支援のために発足しました。Breakthrough(ブレイクスルー) の趣旨に賛同いただける法人・個人に会員になっていただき、その会費で活動が支えられています。



Background

Breakthrough 取組み背景



変わってしまった日本、変わらない意識 時代の変化に対応できる人材の育成

日本の人口は 1900 年の約 5000 万人から、2000 年の 1 億 3000 万人と約 8000 万人が増加。日本は戦後約 50 年で廃墟の中から奇跡的な成長を遂げました。しかし、2100 年には再び 5000 万人に減少するという、かなり正確な将来予想が出ています。

学生の親世代や学生が就職する企業の経営者を含めた社会人は、人口急増の中、家電をはじめとした大量生産、大量消費の内需主導の経済成長時代を生きてきました。

しかし、目の前の学生は今後 80 年間で 8000 万人が減少するという、今まで誰も経験したことのない人口減少さらに高齢社会という時代を生き抜かねばなりません。

時代によって変化する環境や現実を感じとり、危機感を持って対応できる人材の育成がこれから日本に必要とされています。

グローバルな視点が必要な時代 世界に必要とされる人材の育成

世界の人口は、1900 年の 16 億人から 2000 年には 60 億人に、そして 2100 年には 109 億人にと劇的な増加が予測されています。この人口増加は、①食料・水不足、②エネルギー資源不足、③地球温暖化などの環境の悪化、④貧富の格差の拡大という危機的な世界問題を引き起こすことになります。

他人や社会全般の利害などを考えようとせず「自分だけ良ければそれでいい」という利己主義的な考え方では、さらにこの状況を悪化させてしまいます。

しかし、集団で収穫し、実りを分け合って生きてきた日本人が本来持っているお互いに相手を大切にし、協力し合うという価値観を世界に伝えることができたら、急激な人口増加に陥る世界への平和貢献になると期待できます。



チャレンジ=失敗から学ぶ

失敗を恐れず、新しい何かに挑戦する経験が必要

日本人は、リスクを避け安定を好む傾向にあるといわれ、親は子どもたちに「失敗しない道をいかに選ぶか」を教える傾向にあります。しかしその結果「失敗のリスク」を避け、チャレンジをしなくなり、チャレンジと失敗の経験から自信を成長させてくれるチャンスを失うことになります。

Breakthrough(ブレイクスルー)では、企業の問題に実践的に挑む過程で、失敗しても立ち直る強さや、失敗から学ぶこと、そして人の関わりあい方など、たくさんのチャレンジと失敗の経験の機会を提供します。

Organization

スケジュールと組織構成

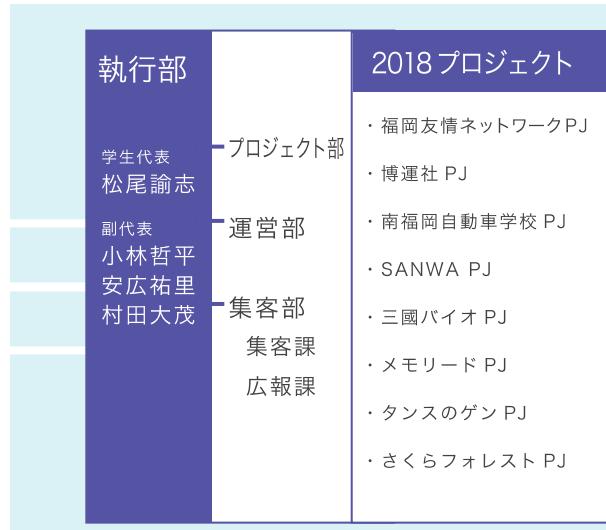
年間スケジュール

諸事情により日時や場所が変更になる場合もあります。



2018年度組織図

学生組織



支援団体・社会人

NPO法人 ASIA

Breakthrough 運営のために発足。未来ある若者を応援する企業や個人を会員とする団体です。

インターナン先企業

各専門分野メンター

幅広いアドバイザー

国内外大学・企業・各種有識者
(法律事務所・会計士事務所・海外進出支援企業・医師・行政関連・人材派遣・IT企業・その他)

【実行委員会学生および所属所学校名】学校名五十音順

●福岡大学

牛嶋快斗 法学部 経営法学科 1年生 / 岡田悠汰 経済学部 経済学科 1年生 / 鹿川将哉 経済学部 産業学部 3年生 / 楠見時央 理学部 物理学科 3年生 / 倉重亜衣 経済学部 経済学科 3年生 / 古賀悠介 経済学部 経済学科 4年生 / 後藤佑介 経済学部 産業経済学科 1年生 / 小林哲平 経済学部 産業経済学科 3年生 / 清水勇輔 経済学部 経済学科 1年生 / 田尻大介 経済学部 産業経済学科 2年生 / 塚本遼太郎 経済学部 経済学科 2年生 / 提優汰 経済学部 経済学科 1年生 / 津野田翔 経済学部 経済学科 3年生 / 富永誠也 工学部 機械工学科 1年生 / 中村昭太 法学部 経営法学科 1年生 / 中村翔太 商学部 経営法学科 1年生 / 中村亮太 経済学部 産業経済学科 1年生 / 新原青羽 経済学部 経済学科 2年生 / 野平龍樹 商学部 経営法学科 2年生 / 楠尾隼希 商学部 貿易学科 2年生 / 東原瑠星 法学部 経営法学科 1年生 / 平方梨瑚 法学部 経営法学科 2年生 / 松尾諭志 経済学部 産業経済学科 3年生 / 松木優也 法学部 経営法学科 1年生 / 村田大茂 経済学部 産業経済学科 3年生 / 森大地 経済学部 経済学科 4年生 / 横川紗里奈 経済学部 産業経済学科 2年生

●中村学園大学

野田実紗希 中村学園大学短期大学部 キャリア開発学科 2年生 / 松隈日奈子 流通学科 流通科学部 2年生

●筑紫女子大学

麻生真奈 文学部 日本語日本文学科 2年生 / 内野真由香 現代社会学部 現代社会学科 2年生 / 江頭百夏 現代社会学部 現代社会学科 2年生 / 高橋桜子 現代社会学部 現代社会学科 2年生 / 田中まみ 文学部 アジア文化学科 2年生 / 津田呼春 文学部 英語学科 2年生 / 永山瑛恵 現代社会学部 現代社会学科 4年生 / 中村友紀 現代社会学部 現代社会学科 2年生 / 錦戸桜子 文学部 アジア文化学科 2年生 / 福地未羽 現代社会学部 現代社会学科 1年生 / 福学科良海里 文学部 アジア文化学科 2年生 / 宮田明日咲 現代社会学部 現代社会学科 1年生 / 安広祐里 現代社会学部 現代社会学科 3年生 / 梁井美里 現代社会学部 現代社会学科 2年生 / 淀川真希 人間科学部 人間科学科 3年生

●福岡工業大学

小山史登 社会環境学部 社会環境学科 2年生 / 行徳康平 社会環境学部 社会環境学科 2年生 / 滝里於子 社会環境学部 社会環境学科 3年生

【メンター】五十音順

有吉みよ子 有限会社シアンデザインマネジメント代表取締役社長／庵博文 C-Brain 株式会社代表取締役社長／石松裕平 日本アイビーエム株式会社エンターブレイズ事業本部／櫻田ほのか／大平猛 東京大学物性研究所 大平開発チームリーダー 大平研究所株式会社代表取締役社長／小田部莊司 九州工業大学大学院情報工学研究院電子情報学系教授／角中正博 福岡大学研究准進部産学官連携センター 教授／黒木帆南 株式会社久原本家 総店舗／小玉修市 アセアン・プラス株式会社代表取締役社長／坂口齊 福岡大学 経済学部産業経済学科 4年生／相良燐太 株式会社ありがとうサービスリユース事業部トリアス久山店社員／嶋尾優也 富士通エフアイビー九州株式会社福岡ソリューション事業部公共システム部自治体グループ／芝内克佳 三菱重工コンフレッサ株式会社 調達室調達グループ品チーム／田崎洋平 株式会社駿前不動産／田中京介 第一施設工業株式会社 ポット事業部 保守部／松下龍之介 株式会社W／矢坂 悠貴 ウェブニクス株式会社 agency supporter／山下未笑 有限会社セレーノコーポレーション代表取締役社長／山野成範／山本寛 学校法人成蹊学園 福岡外語専門学校理事・事務局長／吉田竜汰 株式会社サイバーエージェント インターネット広告事業本部西日本事業部西日本4局アカウントプランナー

【参加学生所属学校】

福岡大学を中心に福岡市内 11 大学部・学年を横断して編成された 1~4 年次生（留学生を含）と 2 つの語学学校留学生・海外の 2 大学の学生たちがプロジェクトメンバーとして参加します。福岡大学・九州大学・中村学園大学・筑紫女子学園大学・西南学院大学・福岡女子大学・久留米大学・九州外語学院・福岡工業大学・福岡女学院大学・九州産業大学・王立ブノンベン大学・タイ カセート大学 計 135 名（Breakthrough2018）

Activities

現状分析・問題発見・問題解決からなる9ヶ月の活動

守

現状分析 6月～10月

企業と学生の協働による現状分析

インターン先企業選定について
インターン先企業は、自薦、他薦、学生からの希望などの中から選定されます。社長と学生間の会議を含めたコミュニケーションの頻度が高く、お互いの信頼関係を築き上げたプロジェクトは過去のコンテストにおいて良い成績をあげています。しかし、担当者まかせになっているプロジェクトは社長の考えを知るまでに時間がかかり活動が停滞してしまいます。それらのことからインターン先企業の選択の重要な要素として社長の積極的なプロジェクトとの関わり（コミットメント）が求められます。

企業と学生のマッチング

5月、インターン先として選定された企業は、プロジェクト参加希望学生に対して自社のプレゼンテーションを行い、学生の意思によって9ヶ月間のインターン先企業を選びプロジェクトが開始します。

企業テーマと目標設定

プロジェクトのテーマは①改善②創業・第2創業③グローバル化（インバウンド・アウトバウンド）の中からひとつ、もしくは①②③の組合せの中から選択されます。テーマと目標は、社長から学生に対して設定理由を含め提示、説明していただきます。

企業責任

インターン先企業の社長は、学生が現状分析に必要として求める各種資料（決算データ、売上げデータなど）の提供とその説明を直接お願いします。また関係者へのインタビュー対応など積極的なご協力ををお願いします。

学生責任

学生は思い込みや既成概念を捨て、社長からの説明を肯定的に受け入れ、理解する努力をします。また、社長や会社・関係者への報告や連絡を頻繁に行い、進捗状況の共有を行います。必要に応じた相談をします。



*学生は基礎的な知識や対応能力が不十分で、企業に失敗や様々なご迷惑をおかけする場合が発生するかもしれません。そのような際には、ブレイクスルー執行部へお知らせいただき、学生への責任追及ではなく、同じ失敗を繰り返させないための学びの場にしたいと考えております。

破

問題発見 10月～12月

分析から問題と原因の発見

現状分析を継続し、分析の中から何が問題なのか、何が原因なのかを追求し問題解決の糸口を発見します。中期コンテストでは学生の目線でインターン企業の問題点を主に発表します。

学生ならではの問題発見

現状分析の中から、学生ならではの中立的な視点で企業の問題とその原因を追求し提言します。

「守」の現状分析を通じて、売上・費用・商品・サービス、取引先や顧客との関係を理解し、必要に応じて専門家にアドバイスを受けながら、学生が情報を取るために現場に赴きます。それらの行動から得る学生の気づきや感受から問題を発見に取り組みます。また、学生は、肯定的に受け止めた「守」の現状分析の中に、企業の常識では当たり前であっても、学生の感性から見れば、経営者同士の考え方の違い、社員との思いのすれ、企業と顧客との求めるものが異なるなどの無視できない違和感を持ちます。「守」の現状分析とその違和感から企業の問題とその原因を追求、言語化し利害関係のない企業と顧客の間に立った中立的な立場から企業に提言します。「守」の現状分析を継続しながら、企業の問題とその原因追求を深めます。

離

問題解決 12月～3月

仮説と検証そして問題解決

発見した問題に対して、仮説と検証を繰り返します。顧客目線で問題解決に取り組みます。後期コンテストではインターン先企業社長から提示された「設定目標」達成への取り組みを発表します。

学生たちで発見した問題を

学生たちで解決する喜び

目標達成のために、問題解決の可能性を仮説と検証を繰り返しながら、答えを導き出していくという作業を行います。

「守」の現状分析をもとに「破」で発見した問題の構造とその原因が明らかになると、解決に対しての可能性がいくつか見えるようになります。そのような問題解決の可能性の一つ一つを仮説と検証を繰り返してテーマに基づく目標を達成させるために、答えを導き出していくという作業をしていくことになります。

チームが団結して問題解決することで、応援してくれる社長や社員、顧客と一緒に喜べる体験と、プロジェクト活動の中で学生が社会人基礎力を養うこと期待しています。



Project

2018年プロジェクト紹介



さくらフォレストPJ

インターン先企業 さくらフォレスト株式会社

ベトナムでの通信販売の拡大 月間売上げ500万円の達成



現状分析と仮説立て

前期の活動は、主に商品の強みや日本の美容用品をベトナムで販売することのメリットなどをネットで調べたりベトナム人留学生に話を聞いたりしました。他にも通販についての勉強会やVCOマイルドソープについての勉強会などを行いました。VCO マイルドソープは毛穴の奥の汚れしっかりと落とす効果があります。またベトナム人は毛穴の汚れ、角栓が悩みということがわかりました。のことから、毛穴・角栓に効果があることを売りにすることで売り上げが上がるのではないかという仮説を立てました。これからアンケートを行って、仮説が正しいのかを検証して行こうと思います。

売り上げ500万円達成に向けて

まずは一緒に活動してくれるベトナム人を探し、日本人ではわからないベトナムのことをその場で解決できる環境を作って行きたいと思います。次に、ベトナムへ現地調査やVCOマイルドソープの工場見学など、脚を使っての活動を増やして行きたいです。また、目標である月間売り上げ500万達成という数値を明確化し、今後はLP製作、アンケート、動画の3チームに分けて活動をし、ベトナム事業部の社員さん始め、企業の方に向けて考案とアプローチを繰り返していく、月間売り上げ500万円達成します。

インターン先企業紹介 さくらフォレスト株式会社

さくらフォレスト株式会社は通信販売事業をはじめ、人材開発事業、簡易宿泊業、不動産業など幅広い事業を展開しているベンチャー企業です。メインの事業は通信販売で、健康食品や基礎化粧品で飛躍的に業績を伸ばしています。また、社員の若さと自由な社風が特徴的な会社です。



福岡大学
福田 真大 商学部2年生
渡邊 祐太 法学部2年生
山下 健斗 法学部2年生
新屋 圭悟 法学部2年生
池田 勝登 経済学部2年生
夏原 理久 商学部1年生
田中 佑夏 人文学部1年生
東みつき 商学部1年生
前田 実奈 商学部1年生
渡邊 紫乃 商学部1年生
筑紫女学園大学
川畑 成織 現代社会学部2年生
中村 千乃 現代社会学部2年生
永松 優果 文学部2年生
神代 瑞歩 人間科学部1年生
大道 美空 人間科学部1年生
瓦田 瑞穂 文学部1年生
中村学園大学
中田 順香 流通科学部3年生
平石 桃子 流通科学部3年生
牧園 桃香 流通科学部3年生
久木田花織 キャリア開発学科2年生
梅崎 紗衣 流通科学部2年生
石井 亜美 キャリア開発学科1年生



SANWAプロジェクト

インターン先企業 三和ホールディングス株式会社

インバウンドで地方創生 海外と糸島をつなぐ 伊都安蔵里の売上10%UP



迷走

前期では「伊都安蔵里の集客から糸島の地方創生」という流れを作るべく活動をしていましたが、活動をしていく中で伊都安蔵里単体では集客能力がないということに気づき、「糸島全体と連携し糸島全体で集客を行い、そこから伊都安蔵里に来てもらう」という方向に変更することにしました。



学生の目線と行動で糸島の魅力探し！

方向性が変わり、活動内容もこれから大きく変わっていくので、まずは糸島の分析を急いでやっていきます。糸島の魅力を知らないでは、誰かに魅力を伝えるのは難しいので、学生の行動力と時間があることを生かして、糸島の観光地約140か所をすべてプロジェクトメンバーで回り、糸島の魅力を知り尽くそうと思います。

インターン先企業紹介 三和ホールディングス株式会社

私たちのインターン先企業は三和ホールディングス株式会社です。グループ事業会社が5社あり、福岡市博多区に本社を構えています。伊都安蔵里はグループ事業会社の1つであるアイリンクス株式会社の飲食部門です。

Project

2018年プロジェクト紹介



タンスのゲンPJ

インターン先企業 タンスのゲン株式会社

中国の通信販売事業拡大・黒字化 タオバオ店月間売上げ500万円



前期コンテストまでの活動内容

中国の通信事業拡大・黒字化のために、タオバオ店月間売上500万円を目標に活動してきました。本社を訪れ社長の想いを実際に伺ったり、中国に現地調査を行いました。上海オフィスの現状を理解し、また中国で需要がある商品をショッピングモールなどで調査しました。他にも、中国人に実際にアンケートをとり中国でのEC事情を調査し、それをもとに、今後タンスのゲンで出品する商品を考え分析し、企業の方に商品を提案していました。



前期コンテスト以降の活動

中期コンテストの前にまず第1目標である11月11日の独身の日が来ます。まずはそこに向けて、目標達成できるようにただの商品ではなく売れる商品にするために、ホームページの改善だったり、広告、集客、ネット上ならではの工夫を考えて少しでも売上が上がるよう頑張って行きます。動画の3チームに分けて活動をし、ベトナム事業部の社員さん始め、企業の方に向けて考案とアプローチを繰り返していく、月間売り上げ500万円達成します。

インターン先企業紹介 タンスのゲン株式会社

タンスのゲン株式会社は、国内外ともにEC通販サイトを通して家具、インテリア販売の事業を行っています。国内では、ヤフーショッピングでベストストア賞など様々な賞を獲得しており日本でも成長を遂げている企業です。会社として2040年までの年商1000億円という目標を達成するために2016年に中国進出を行いました。



福岡大学
徐 鶴峰 経済学部4年生
倉重 亜衣 経済学部3年生
長尾 美里 法学部2年生
野平 龍樹 商学部2年生
守田 和重 工学部2年生
中村 翔太 商学部1年生
福岡工業大学
寺門 稲 社会環境学部2年生
佐々木俊輔 工学部2年生
中村学園大学
油布 広大 流通学部2年生
森山華南子 短期大学部1年生
筑紫女学園大学
田中 まみ 文学部2年生
西野 真子 文学部2年生
平田 萌 文学部2年生
李 晓萌 文学部2年生
井本のどか 現代社会学部1年生
嘉村 由菜 文学部1年生
阪本奈津実 現代社会学部1年生
清水 優希 文学部1年生
福地 未羽 現代社会学部1年生



博運社PJ

インターン先企業 株式会社 博運社

物流を通じてASEANの 経済発展に貢献する ビジネス案の提案と確定



活動状況と前期での活動のまとめ

前期での活動としては、倉庫見学で博運社の働きや強みを知ることができ、インターン先との意識のズレを起こさないようにするためのミーティングを行う本社訪問やベトナムや日本の物流の現状を把握するために、三者会議を行う日を定期的に設け得た知識や疑問を週末の会議で話し合い、またその会議で出た疑問や内容を深掘りしていくためにネット調査などを繰り返しました。そして、数値と根拠に基づいた、実現性のあるビジネスモデルを構築するために目標利益額の確定と目標利益額を出すのに必要な経費の算出、目標売上額の設定を行いました。



前期以降の活動



前期までの活動としては、数値と根拠に基づいた、実現性のあるビジネスモデルを構築するために、数値の設定を試みたがビジネスモデルがないために数値(経費)を出すことができないという失敗が生じた。そのため、後期からの活動としては、まずビジネス案を考えた上で活動していくために食に的を絞り、食の安全性もしくはベトナムでの食品輸送の現状、そして今ベトナムで必要とされているニーズをベトナム人へのヒアリングなどを通して調査して、博運社の強みを活かすことのできるビジネス案を考えていく。

インターン先企業紹介 株式会社 博運社

株式会社博運社は九州を中心とした倉庫・運送事業等を行なっている物流企業です。最大級延べ床面積を誇る倉庫群を有しており、西日本一帯を拠点網としています。また運送業では強みとする定温輸送を用いて、医薬品の九州輸送シェアNo.1を誇る九州地場大手企業となっております。

Project

2018年プロジェクト紹介



福岡友情ネットワークPJ

インターン先企業 NPO法人ASIA

グローバル化に向けて
留学生と企業の架け橋になる

Create internship



前期コンテストまでの活動内容について

前期までで行ったことは、国際交流イベントです。私たちは留学生とのコミュニティを大切にしています。そのため、まずは福岡友情ネットワークのメンバーと留学生が交流できる場としてBBQパーティーを行いました。留学生との距離も縮まり、とてもアットホームなイベントとなりました。次のイベントとして他の団体とコラボし、力を合わせて大規模なハロウィンやクリスマスパーティーを企画しています。

前期コンテスト以降の活動はどう取り組んでいくのか

入管法改正案のニュースから今後の活動は社会問題の解決をします。入管法が改正されることによって海外の人が長く働けるようになるかもしれないのに海外人材を受け入れる準備ができる企業は少ないです。私たちが留学生向けのインターンシップ作り、日本で働くイメージを双方に持つてもらうのがねらいです。まずは二日でインターンの企画・エントリー募集を行い、自分たちで留学生と面談し、インターン生としてまず福友が受け入れてます。留学生との活動はやはり、かなり問題発生しますが、やっつと走り出した福友はスピード感抜群です。気合い入ってます。

インターン先企業紹介 NPO法人ASIA

福岡友情ネットワークプロジェクトは、Breakthrough発足時から活動しているプロジェクトで、テーマ先はBreakthroughの支援団体であるNPO法人ASIAです。グローバル化に向けて留学生と企業の架け橋をテーマに活動しています。

筑紫女学園大学
船越麻里 文学部 3年生
宮本りか 現代社会学部 3年生
本田神楽 現代社会学部 2年生
金澤さやか 文学部 1年生
新開千夏 人間科学部 1年生

福岡大学
舌間愛咲 経済学部 2年生
黒田千織 人文学部 2年生
北原佑夏 人文学部 2年生
三砂勇人 経済学部 1年生
隈本真弘 経済学部 1年生

福岡大学
高橋 卓也 医学部2年生
横川紗里奈 経済学部2年生
新原 青羽 経済学部2年生
畠中 菜摘 経済学部2年生
佐藤 有一 商学部1年生
中村 亮太 経済学部1年生

福岡工業大学
小山 史登 社会環境学部2年生
古川 大輔 社会環境学部2年生

筑紫女学園大学
内野真由香 現代社会学部2年生
高橋 桜子 現代社会学部2年生
中村 友紀 現代社会学部2年生
福良 海里 文学部2年生
吉田 百花 文学部1年生

中村学園大学
野田実紗希 短期大学2年生

九州工業大学
江頭 彩夏 情報工学部2年生
武村 昂輝 情報工学部2年生

九州大学
林 裕太 工学部4年生
鉢立 春響 医学部3年生



三國バイオPJ

インターン先企業 三國有限公司

学生の発想力と行動力で
GSP研究をビジネス化する

共同研究1校以上獲得・その他のビジネス化の提案



共同研究先1校獲得のために
大学へ訪問

自社分析として実際にGSPの人工抗体の製造過程である研究、を見に行き、ビジネスモデルの確立を行いました。そして、GSPの技術を新規事業としてビジネス化するために実際に九州工業大学へアプローチをかけました。その結果として、共同研究先1校が獲得間近になりました。



九州工業大学以外の共同研究先の獲得

目標が共同研究1校以上の獲得であるので九工大との研究に加えて、大阪大学にこれからアプローチをかける準備を行っています。また、他にも協力者を増やすために展示会や学会に積極的に参加し、人脈を広げていき、目標達成を目指します。

インターン先企業紹介 三國有限公司

私たちのインターン先は三國有限公司の子会社であるGSPエンタープライズです。今まででは研究だけが目的で売り上げが無い会社でしたが吉見会長のこのGSPの技術をビジネス化したいという思いから私たち学生と共に新規事業として立ち上げています。

Project

2018年プロジェクト紹介



南福岡自動車学校PJ

インターン先企業 南福岡自動車学校

日本で活躍できるカンボジア人材を創る カンボジア人材の採用枠を10名獲得する



日本で活躍するカンボジア人材を創るために

前期までの活動は、外国人が働くために必要なVISAについて勉強会したり技能自習生の教育センターに訪問したりして外国人の教育、雇用の現状、問題を知るため調査しました。また実際にカンボジアへ行き、現地の学生、日系企業などに訪問し現地でしか得ることのできないカンボジアの教育や雇用の現状について学ぶことができました。そこではカンボジアには日本で即戦力になる人材がいるということがわかりました。日本での他社分析では、IT人材を派遣している企業にはbridgeSEという存在があることがわかり、bridgeSEの存在が多くの人材を雇用してもらうカギになるのではないかという仮説を立てました。

日本で活躍するカンボジア人材を実現するためには

前期では「カンボジア人材が日本で働くことへのニーズ」と「日本企業にカンボジア人材を受け入れてもらう方法」を主に調査したので、これからは前期コンテストのプレゼンテーションで話したようにbridgeSEを探し日本企業に受け入れてもらえる環境を整えながらも、たくさんの日本のIT企業とつながりカンボジア人材を受け入れてくれる企業を探していきたいと考えています。まずは日本のIT企業の方とたくさんお会いするために就職イベントに参加したり電話でアポイントを取ったりしています。これからは調査と違って苦しいことや壁にぶつかることが多いと思いますが一致団結して頑張っていきます！

インターン先企業紹介 南福岡自動車学校



南福岡自動車学校は「感性あふれるヒトを創る」ということを企業理念に掲げている自動車学校です。南では車の運転技術だけでなく人として成長できるような教習を行っています。また、かめライダーというキャラクター やDONDON!ドライブという学科教習の教材を作り自動車学校業界に新しい風を吹かせるべく挑戦をしています。



メモリードPJ

インターン先企業 株式会社メモリード

海外日本食のBreakthrough ～日本風を純日本食へ～ 海外事業部候補生を8名集める



前期までの活動の内容

前期は日本食、純日本食の定義付けの調査のため、自社分析として、料理長の方へのインタビューを行ったり、本社のある長崎に研修に行きました。料理長の方々へのインタビューでは、ご自身の経験に加え、メモリード全体の和食についてのことを詳しく話していただきました。長崎研修では、実際に会長とお会いし、プロジェクト活動内容の再確認をしました。また、顧客分析として、日本食を広めたい留学生を顧客として語学学校へ訪問しヒヤリング調査を行いました。そこでは、どういったことがパートの条件としてあるのか、実際に働いているアルバイト先はどういった条件なのか、などメモリードで働くためにどういったことが条件としてあげられるかの参考になりました。前期は、自分たちで動いて調査することができたと思います！

前期以降に取り組んで行くべきこと

メモリードの料理人に現場の現状と海外にアンケートを行うことや、留学生へのヒヤリングをし、引き続きメモリードの料理が純日本だと証明することです。そのために、まず自社について詳しく知ることが大切であると考えました。前期以降は、自社についてもっと深く知っていくことも目標にしたいと思っています。具体的には、レストラン事業部のどの店にどれだけの人材が足りていないという状況があるのか、海外についての自社のイメージなどの調査を行いたいと思っています。10月16日には、吉田会長との会食や、11月15日には、吉田会長、川端顧問（メモリードの料理長）との打ち合わせが予定されているのでもう一度テーマ再確認を行って、今後の進むべき方向を決めたいと思っています！

インターン先企業紹介 株式会社メモリード

設立日：1969年（昭和44年）▶売上高：502億円（2017年度）▶従業員：3,213名▶事業所：長崎・佐賀・福岡・宮崎・群馬・埼玉・東京▶本社：長崎代表取締役会長吉田茂視▶資本金：28億6,840万円 創業50周年を迎える！



学生の声

breakthrough

2018



塚本遼太郎 BT 実行委員
福岡大学 2年生

責任感と仲間に頼る勇気

私がBreakthroughにはいって一番良かったことは、誰かが必要とされるする経験が積めることです。社会人や仲間から頼りにされる楽しさも勿論ありますが、それ以上に引き受けた仕事を最後まで貫き通す責任感、自分ができそうになれば仲間に頼る勇気を身に着けたのが大きかったです。



梁井美里 BT 実行委員
筑紫女学園大学 2年生

自分の成長に積極的に行動

私は広報課に入っていてマスマディアにBreakthroughの魅力をとりあげてもらえるようにアプローチを頑張っています。これからももっと自分自身成長できるように積極的に行動してみたいと思います。



古川大輔 三國バイオ PJ
福岡工業大学 社会環境学部 2年生

仮説を立て実行する力

問題解決のために自分達に何ができる何ができるないのかを考え、仮説を立て、そして実行する力が付きました。様々な学生や社会人に会うきっかけができことで、わからないことはわからないといえるようになりました。



佐藤有一 三國バイオ PJ
福岡大学 経済学部 経済学科 2年生

成長のための経験

Breakthroughは社会人の前でプレゼンをしたり、一緒に会話をしたりといふとても貴重な体験ができる場だと思います。しかし、こなすだけでは成長できないので、この経験を有意義なものにする為に意欲的行動を起こしていきたいです。



田中ゆつき メモリード日本食 PJ
福岡大学 経済学部 経済学科 2年生

自分自身を理解する

私がBreakthroughに入ってよかったことは、PJ活動をしていく上で、自分の立ち位置や向き不向きが分かったことです。今後、就活をする時の役に立つと思いますし、活かしていきたいです。



松隈日奈子 メモリード日本食 PJ
中村学園大学 流通科学部 2年生

成し遂げることの達成感

私がBreakthroughで身に付けられたことは、責任感です。学校生活のほかに「自分の居場所」があることで、何事も中途半端にしてしまうことが多かった自分が成し遂げることの達成感を味わうことができました。



梅崎友宏 南福岡自動車学校 PJ
福岡大学 経済学部 2年生

成長できたという実感

私は人とコミュニケーションをとるのが苦手でした。Breakthroughに入ってほかの学校の人と一緒に活動していくうちに段々話せるようになってきたので、そこが自分の中で成長できたと思っています。



安永昂陽 南福岡自動車学校 PJ
福岡大学 法学部 1年生

社会人としての能力を養う

私は社会人になるために必要な能力が全くなかったのですが、コミュニケーション能力、プレゼン作成などを、大学生活の中でBreakthroughに入ったことで養うことができました。



舌間愛咲 福岡友情ネットワーク PJ
福岡大学 経済学部 2年生

苦手意識を克服

私は人前で話すのが苦手です。初めてプレゼンターを任せられたときは不安で声も小さく、自信を持つことができませんでした。しかし、回数を重ねるうちに、人前で話すことが苦手ではなくなり、成長できました。



本田神楽 福岡友情ネットワーク PJ
筑紫女学園大学 現代社会学部 2年生

出会いで視野が広がる

他大生や社会人、留学生など様々なジャンルの超おもしろい人と出会えることが魅力だと感じます。自分の興味関心のあることに取り組むことができ、アウトプットする場があるため、視野も広がりました。



寺門稜 タンスのゲン PJ
福岡工業大学社会環境学部 社会環境学科 2年生

当たり前の事を学ぶ大切さ

私は昨年1年生として活動をしました。今年は立場も代わりプロジェクトのリーダーとして活動していますが、去年学んだ事が色々な所で活かしていると感じています。それが時間の使い方とコミュニケーションです。優先順位を付けて今何をしないといけないのか、企業側とのコミュニケーションの取り方など活動をする上で当たり前の事を学ぶ事が出来ました。



中村翔太 タンスのゲン PJ
福岡大学 1年生

自分自身を理解する

Breakthroughに入り、最初は先輩について行くだけしかできなかったのですが、今では会客部の統括、PJの副リーダーというポジションを任せてもらい、充実した活動ができています。きつと思つたりするのですが、メンバーと協力して頑張っているので楽しいです。これから沢山吸収してみんなを引っ張っていきます。



東原瑠星 伊都安蔵里 PJ
福岡大学 1年生

出来なかつた事に気づき学ぶ

私は「人と違うことがしたい」と大学入学時に思い、Breakthroughに入りました。Breakthroughでの活動はまだ約半年しか経っていませんが、疑問に思う大切さや話すべきは自分の話したい事ではなく、聞き手の聞きたいことを話すなど当たり前のように自分に出来ていなかつたことを学ぶことが出来ました。



錦戸桜子 伊都安蔵里 PJ
筑紫女学園大学 2年生

新しい価値観を得て考え方にも変化が

私は、Breakthroughに入って、学生はもちろん、社会人の方との人脈が増えました。関わる中で、新しい価値観を持ち、就活・将来について、また違う見方で考えるようになりました。いい影響をたくさん受けることができています。



津田歩春 BT 実行委員
筑紫女学園大学 2年生

様々な価値観に触れ、将来を考える

私がBreakthroughに入った理由は、頑張れるもの、夢中になるものを見つけたからです。入ったことにより、沢山の人に会う機会が増え人脈が広がりました。そして、様々な価値観に触れ将来について考えることができました。今後も沢山のことに挑戦し最後までやりきるという拘りを持って頑張ります。



神代瑞歩 さくらフォレスト PJ
筑紫女学園大学 1年生

自分を活かし能力を高める

私は今から参加しており、中国と日本の文化の違いを肌で感じております。中国人ならではの感覚、意見を精一杯活動に活かせるよう内気な性格を改善できるようにこのブレイクスルーを通してコミュニケーション能力を高めながら活動に活かしていきたいと考えております。



レインゼン 博運社 PJ
福岡大学 経済学部 研究生

留学生の声

Breakthroughメンバーになるのはラッキー
日本に来た後、偶然この団体のプレゼンテーションに参加し面白くて入った。日本人の学生達と一緒に活動する中で、沢山の事を学び体験した。特に起業に関する事を知れた。各分野の専門家やゼロから大企業にした起業家などに会う機会があった。その際、様々な側面へのアプローチや企業の各問題を客観的に考えれるようになった。私の夢は日本で起業する事なのでBreakthroughに出会ってBreakthrough Family のメンバーになるのはラッキーだ。



徐鶴峰 タンスのゲン PJ
福岡大学 経済学部 4年生

自分自身を理解する
Breakthroughを通して、私は「育てる力」の大しさを学びました。プロジェクトにおいて、自分一人で頑張つても限界があります。そこに必要なのが新しい力だと私は考えました。後輩と先輩の考え方をなくし、親身になって相手と接し、相手の意見を多く聞き入れ、多くのチャンスを与えることが必要です。このことがプロジェクトを良い方向へと導きます。社会に出ても、「周りに育てられ、周りを育てる」ことを大事にしたいです。



李曉萌 タンスのゲン PJ
筑紫女学園大学 2年生

自分を活かし能力を高める
私は今から参加しており、中国と日本の文化の違いを肌で感じております。中国人ならではの感覚、意見を精一杯活動に活かせるよう内気な性格を改善できるようにこのブレイクスルーを通してコミュニケーション能力を高めながら活動に活かしていきたいと考えております。

正会員 メンターの声



小田部 莊司

九州工業大学 大学院情報工学研究院 電子情報工学研究系 教授

課題を協力して解き、改善していくユニークな活動

大学教員としてBreakthroughに関わっている理由はたくさんあります。地域貢献、留学生支援、新しい教育、学生の新しい学びなどです。これまでの大学の教育は知識重視で、それを組み合わせて実問題を解くデザイン能力の涵養が弱かったです。Breakthroughではどのように解いたら分からぬ課題を、多くの関係者と協力して解いていく、改善をしていくともユニークな活動があります。これからも改善を続け、取り組んでいきます。



宗 聰

光陽無線株式会社

Breakthroughには人間が成長する原点がある

いつの時代も若者は全てを示唆している時代の羅針盤です。世の東西を問わず若者は社会を進化させています。そして、そのような生の現場を「Breakthrough」で幾つも見てきました。ここには人間の成長の原点があり、普通の学生が驚くような成長を遂げています。若者のみならず人間が成長できる環境作り、Breakthroughから経営のヒントを頂いています。今後も「Breakthrough」を応援して参ります。



縄田 修

ナワタ消化器外科医院 院長

新しい発想力をもった学生に、未来の日本作りを期待

国際化の進展、AI、ロボット、科学などの驚異的進化に伴う社会変化に対して、現在あたりまえと考えている日本の社会システムでは対応出来なくなってきた。知識、行動力をそなえ、新しい発想力をもった若い学生さんに、未来の日本作りを信じ、期待しています。



山本 寛

福岡外語専門学校理事・事務局長

学生達の成長に必要なエッセンスのヒントがそこにある

私がBreakthroughに関わり始めたのは4年前からです。掴みどころがないというのが正直な感想でした。明確に活動の意義を感じようになったのはOB達の言動に接してからです。活動しているときはイマイチだったメンバーが社会人となった途端に劇的に変化する姿を目の当たりにし、軽い衝撃を受けました。これは教育に携わるものとして強く興味を惹かれます。学生達の成長に必要なエッセンスのヒントがそこにありますからです。



OB OG の声



榎田ほのか

2015年卒業

Breakthroughでの経験があってからこそ。

Breakthroughで過ごした時間は自分の良さ、自信を与えてくれました。今でも楽しく働けるのは、大学生のうち3年間続けたBreakthroughでの経験があってからこそだと思ってます。私だけではなく、たくさんの学生たちがBreakthroughで個性を発揮しています。是非、これからも多くの人に、今の学生の良さを見てもらいたいとOG代表として心から思っています。

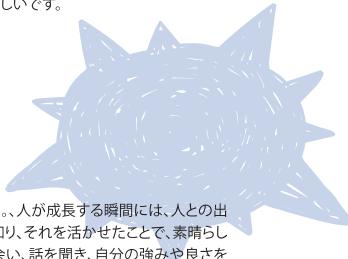


相良燐太

2018年卒業

あなただけの価値を求める体験や環境がある。

私はプレゼン力、礼儀作法、行動力、チーム力、問題発見解決力、人脈、海外文化体験などを学べました。そして私にとって価値とは、やりたいことができた、自國に誇りをもつた、謙虚さを知った、人の前で喋れるようになったなどです。Breakthroughには様々な体験や環境があります。あなただけの価値を求める、「没頭する・やり遂げる・自分や仲間を信じる・熱くなる・創造する」体験をしてほしいです。



田中京介

2017年卒業

人間関係の築き方を学びました。

私は、私にしかできない「0から1」の人間関係の築き方を学びました。人が成長する瞬間には、人との出会いは必要不可欠だとも思っています。出会いを重ね、自分の強みを知り、それを活かせたことで、素晴らしい絆と今の人生があると思っています。皆さんも、可能な限り人に会い、話を聞き、自分の強みや良さを理解し、だれにも負けない「自分らしさ」を一つでもいいので見付けてください。



矢坂悠貴

2018年卒業

学生のモチベーションを維持しつつ、良いところを引き出す。

私は大学三年生からBreakthroughに参加しました。それまではベンチャー企業論で活動しており、大学二年生の頃にベトナムとカンボジアに行ったのがきっかけでBreakthroughに入りました。今のBreakthroughの良いところは、モチベーションが高いところだと思います。そのモチベーションを維持しつつ、学生の良いところを先輩として引き出してあげてたら思います。若輩者ではございますが、精一杯サポートさせていただきます!



特定非営利活動法人 ASIA



「地域活性化に寄与し、国際競争が進むアジアの中で活躍する若者的人材育成」を目的に平成21年8月に任意団体として「特定非営利活動法人ASIA」を設立、活動を開始いたしました。

活動の主軸は、留学生と日本人学生が協働して取り組む、戦略課題の解決型インターンシップ推進支援（Break-throughブレイクスループロジェクト支援）

ボーダレス化で拡大する国際市場、その開拓に取組む企業の『グローバル化への戦略』と地域社会に基盤を置く企業の『ローカルでの存在価値創出の戦略』を課題に留学生と日本人学生が協働して取り組む課題解決型インターンシップ推進支援です。

国内外の課題の解決・グローバル化の促進をする、この活動に多くの賛同を得て産学官の三者をあげて取り組む事業となっております。

留学生の安心・充実した学生生活の支援とボランティア活動

また、これらの活動を通して日本での生活で孤立する留学生の実態を目の当たりにし、安心・充実した学生生活の中で日本の若者と交流できるよう平成24年9月より留学生への生活支援・ボランティア活動も行つております。

今後より一層活動の輪を広げ、グローバル化の促進に関わるという志をおなじくする企業・留学生・日本人学生が、集う「場」をつくります。

地域活性化に寄与し、国際競争が進むアジアの中で活躍する若者の育成に関する事業を行います。

また、留学生が日本を好きになってもらうために日常の生活を支援する事業を行い、お互いの経験交流や学び合うこと、支え合うことなどのサポート機能を充実させていく所存です。



代表理事 吉田茂視

平成21年9月より任意団体として活動を始めた当団体は、法人格の取得し、皆様の暖かいご支援・ご協力のお陰もあり「特定非営利活動法人ASIA」として活動しています。2017年から長崎大学も福岡のブレイクスルーをモデルにして、長崎ブレイクスルーがスタートしました。グローバル化が押し寄せる現代において企業は変化を求められておりますが、この活動を通して日本の将来の担い手となる若者達を育てることで、延いては九州経済の活性化に繋がることをご理解いただき、当法人の活動にご賛同いただけたら幸いです。



副代表理事 阿比留正弘

最近、若者の活躍が目立ちます。将棋の藤井七段、女子フィギュアの紀平梨花、卓球の張本智和など、多くの若者が世界レベルの活躍をしています。「最近の若者は」という言葉とともに、若者に否定的な言葉も多い中で、とても勇気付けられます。私は約20年前から、起業家育成の教育を行って来ましたが、多くの学生が大変身するのを目撃してきました。

自分が、世の中に役に立つことをプロジェクト活動のなかで、誰から指摘されたり、自分自身が気づかない長所を教えてもらったりすると、驚くほど、成長することができます。

ダイヤモンドはダイヤモンドで磨かれるように、人は人で磨かれます。多くの若者がもっと輝く場を与えることが私たち年長者の仕事です。学生が変身の現場を目指すのはとてもやりがいのある仕事です。この仕事に多くの人に参加して欲しいと思っています。

特定非営利活動法人 ASIA (NPO法人ASIA)

特別顧問	石原 進 九州旅客鉄道株式会社 相談役
顧問	田中 優次 西部ガス株式会社 代表取締役会長
代表理事	吉田 茂視 株式会社メモリード 代表取締役会長
副代表理事	阿比留 正弘 福岡大学経済学部産業経済学科 教授
理事	長谷川 裕一 株式会社せがわ 相談役
理事	羽田野 節夫 羽田野総合法律事務所 所長 弁護士
理事	繩田 修 ナワタ消化器外科医院 院長
理事	正田 英樹 株式会社ハイウインターショナル 会長
理事	松島 大輔 長崎大学国際教育リエゾン機構 教授
理事	庵 博文 C-Brain株式会社 代表取締役
理事	壇 健太郎 ever 代表
監事	篠原 俊 篠原公認会計士事務所 代表

正会員

C-Brain株式会社／CDWHoldingLimited／アイ・ケイ・ケイ株式会社／アイリンクス株式会社／アサヒビール株式会社／株式会社SBS／株式会社ダイショード／ケービー食品株式会社／さくらフレスト株式会社／タイガー警備保障株式会社／タンスのゲン株式会社／ユーシーシーフーズ株式会社／医療法人 豊栄会豊栄クリニック／一般社団法人飯塚友情ネットワーク／羽田野総合法律事務所／学校法人福岡成蹊学園／株式会社エッチ・ビー・エス／株式会社ハイウインターショナル／株式会社せがわ／株式会社ふくや／株式会社ボータル／株式会社メモリード／株式会社志のぶ／株式会社若水商会／株式会社正興電機製作所／株式会社西原商会九州／株式会社南福岡自動車学校／株式会社博運社／株式会社美咲／株式会社良選企画／光陽無線株式会社／国際経営株式会社／三角商事株式会社／篠原公認会計士事務所グループ／西部ガス株式会社／有限会社ウェル総合企画／廣田商事株式会社／阿比留 正弘／角中 正博／松島 大輔／鄭 雨宗／松原 照明／上田 周／伊藤孝／PAPUA NEW GUINEA

※順不同 2019年2月現在

NPO法人 ASIA 会員募集

日本の将来の担い手となる若者達を育てることで、地域経済の活性化に繋げる活動にご賛同いただける企業・個人を募集しています。

平成21年9月より任意団体として活動を始めた当団体は、法人格を取得し皆様の暖かいご支援・ご協力のお陰もあり「特定非営利活動法人ASIA」として活動しています。この活動を通して日本の将来の担い手となる若者達を育てることで、ひいては地域経済の活性化に繋がることを理解いただき、当法人の活動にご賛同いただけたら幸いです。

会費は、学生の活動費などに活用させていただきます。

正会員 資格・概要

会 費 入会金	10,000円	年会費 個人30,000円
		年会費 法人60,000円

正会員は、総会における決議権を有し活動・事業計画に参画することができます。総会をはじめとする法人運営に関わる会合等のご案内・活動関連のご案内をお送りさせていただきます。

賛助会員・概要

会 費	年会費 3,000円
-----	------------

賛助会員は、総会における決議権などを有しませんが、納入いただいた賛助会費によって学生の活動をご支援いただけます。

認定NPO法人制度

認定NPO法人になると会費や寄附をした企業・個人は一定の所得税の控除を受けることができ、寄附を受けた認定NPO法人も法人税の軽減措置を受けられるようになります。会員100名以上で認定資格を得ますので、ご協力をお願いいたします。

お申込みに関するお問合せ

特定非営利活動法人ASIA

〒810-0004

福岡市中央区渡辺通5丁目15-6 繩田ビル203

Tel : 092-724-3071 Fax : 092-724-3609

E-mail : dai@npo-asia.com

NPO法人 ASIA・Breakthrough公式ホームページ

<http://npo-asia.com/>

<http://breakthrough-asia.com/>